

伊達市 おかいこ 用具 コレクションカード Vol.3

伊達市保原歴史文化資料館では、10月より伊達の蚕糸業を主とした展示に変わります。このコーナーでは、リニューアルに向けて国重要有形民俗文化財指定を受けた伊達市所蔵のおかいこ用具をカード形式でご紹介します。

【あそび方】①切り取って集めよう（眺めるだけで楽しい！）

②説明を読んで学ぼう（展示の予習になる！）

③じゃんけん(左上)や、おかいこ度(右下)で競おう！



糸取り器 (奥州座繰り器)



繭から生糸を取る道具。主に自宅で使用した。ハンドルをまわすと上部に取り付けたワッコ(糸枠)に生糸が絞状に巻き取られる。写真の糸取り器は一度に2つのワッコをつけることができる。

No. 007

おかいこ度



ワッコ



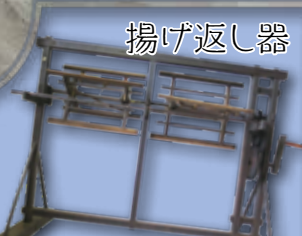
糸を巻き取る木枠。各家々で生産した生糸が巻かれたワッコは、共同の揚げ返し場に持ち込まれることが多かった。そのためか自分のものと分かるように家印や名前が書かれていることが多い。

No. 008

おかいこ度



揚げ返し器



生糸を出荷などで扱いやすい総という形状にする道具。生糸をワッコから大枠に巻き返し、枠から外して総状にした。写真のような大型の揚げ返し器は共同の揚げ返し場や大規模な養蚕農家で使用された。

No. 009

おかいこ度



伊達な 国際交流員の つれづれコラム vol.99



「外国の名前」 Foreign Names

英訳版を
見る▶



外国人の名前を見て、発音で困ったことはありませんか？正しい発音を聞いても、それを自分で言うのは難しいこともあるかもしれません。アメリカには世界中から多くの人が集まるので、よくあるアメリカの名前とはまったく違い、発音が難しい名前もあります。そのため、現地の人が発音しやすい別の名前を名乗る人もいます。

例をあげると、藤田哲也という有名な研究者が Ted (テッド) というファーストネームを名乗っています。

最後に、どちらかをミドルネームにするという方法もあります。多くのアメリカ人はミドルネームを持っていきますので、一方を日本名にし、もう一方をアメリカ名にする人も多います。

両方の文化を大切にしながら、周囲の人の母語に合わせた名前で名乗って発音しやすくしています。(キャメロン)

また、英語でも日本語でも使える名前を子どもにつける人もいます。Ken (けん)、Anna (あんな) などは、英語と日本語の両方を話す家庭によく見られる名前です。

を名乗っていました。Tetsuya と同じように「Te」で始まる Ted という名前にしたのでしよう。この理由で選ぶことが多いと思います。

